



Italian Living Innovation

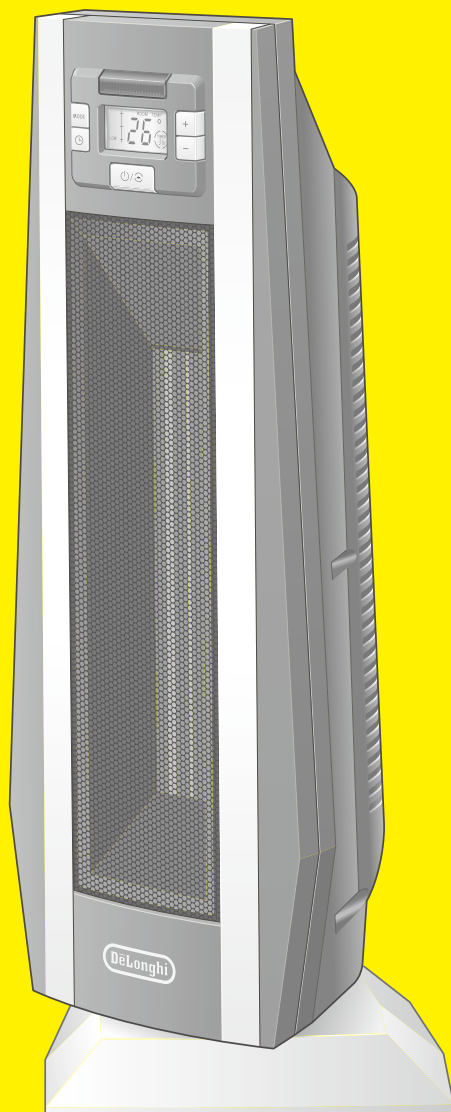
(伊)デロンギ社製 タワー・セラミック・ファンヒーター

型式番号

HCH6590EJ

- ▶ 1250/1350W (50/60Hz)
- ▶ オフタイマー機能付
- ▶ 首振り運転機能付 (左右約 45 度)

家庭用



Made in China

取扱説明書

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

目次

| | |
|----------------|-----|
| 安全上のご注意 | 1～2 |
| 各部の名称とはたらき | 3～4 |
| 操作手順 | 5 |
| 暖房の設定方法 | 6 |
| 知っておいていただきたいこと | 7 |
| お手入れ／保管のしかた | 7 |
| 故障かな？ | 8 |
| アフターサービス | 9 |
| 真心点検について | 10 |
| 仕様 | 10 |

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠ 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

⚠ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

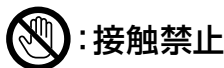
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

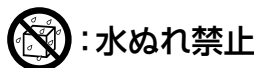
この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



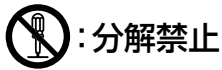
：禁止



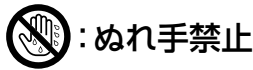
：接触禁止



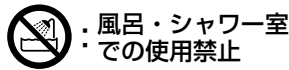
：水ぬれ禁止



：分解禁止



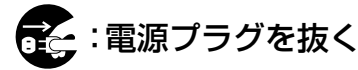
：ぬれ手禁止



：風呂・シャワー室での使用禁止



：指示を守る



：電源プラグを抜く

⚠ 危険

- 穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。



⚠ 警告

【電源／コンセントについて】

- 電源は交流100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
- 取付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



- コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が2つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。
- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



【電源プラグ／電源コードについて】

- 変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（9ページ参照）に、交換を依頼してください。
- 電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。
- 動作中に電源プラグを抜き差ししない
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。
- 運転の際に電源コードが余っても束ねない
熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



- 電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（9ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



【設置場所について】

- テーブルや机の下で使わない
ヒーターの上部をふさぐと、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。（設置場所については4ページ参照）



【使用中／使用後について】

- 逆さまや横倒し、立てかけて使わない
火災や故障などの恐れがあり、危険です。
- スプレー缶などを送風孔の近くに置かない
スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。
- 猫や犬など、ペットの暖房に使わない
ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。
- カーテンなど燃えやすいものの近くで使わない
カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。（設置場所については4ページ参照）



警告

【使用中／使用後について】

- 本製品を分解したり、改造をしない
故障や発火の恐れがあります。



- お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



- 本体をふとんなどで覆わない

本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- 長時間同じ箇所を暖めない

比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると、低温火傷の恐れがあります。



【運転中について】

- 異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（9ページ参照）までご連絡ください。



- ヒーターに寄りかからない

ヒーターを踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしないでください。ヤケド・感電・ケガの原因になります。



【お手入れについて】

- 本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

ヤケド・感電・ケガの原因になります。



注意

【電源について】

- ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。詳しくは、7ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



【電源プラグ／電源コードについて】

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



- 運転中は、電源コードを本体に触れさせない

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



【設置場所について】

- 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室で使わない
ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



- 人や家具などからは、1m以上離す

ヒーターを寝室でご使用になる場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約1m以上の距離を取ってください。



【使用中／使用後について】

- 本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する

感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（9ページ参照）までご連絡ください。



- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う
取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。



- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部などに触れさせないようにご注意ください。



- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。



【運転中について】

- 本体や操作部に水やジュースをこぼさない

本体や操作部に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（9ページ参照）までご連絡ください。



- 運転中および停止直後は、送風孔に触れない
送風孔表面は、最高で約80～90℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



【お手入れについて】

- 絶対に水に浸したり、水洗いをしない



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



各部の名称とはたらき



警告

背面をカーテンや布などで覆わないでください。温度センサーが誤作動を起こす恐れがあります。

(前面)

操作パネル

暖房運転の操作を行います。

→ 5 ~ 6 ページ参照

送風孔

温風が出てきます。

(背面)

取っ手

ヒーターを移動するときは、ここを持ちます。

温度センサー

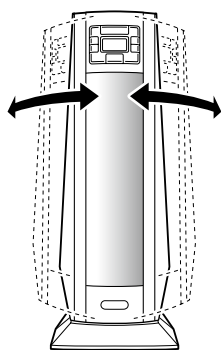
この内部の周辺温度を感知します。

吸い込み孔

ここから空気を吸い込みます。

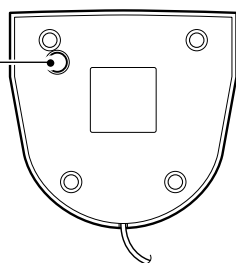
首振り運転

→ 6 ページの C 参照





(左右約 45 度)

(底面)



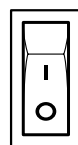
転倒時自動電源遮断装置

ヒーターを転倒させたり、持ち上げたりすると、運転が停止状態になります。暖房運転を再開する場合は、/ (電源/首振り運転) ボタンを押してください。

電源プラグ

電源コード

主電源スイッチ



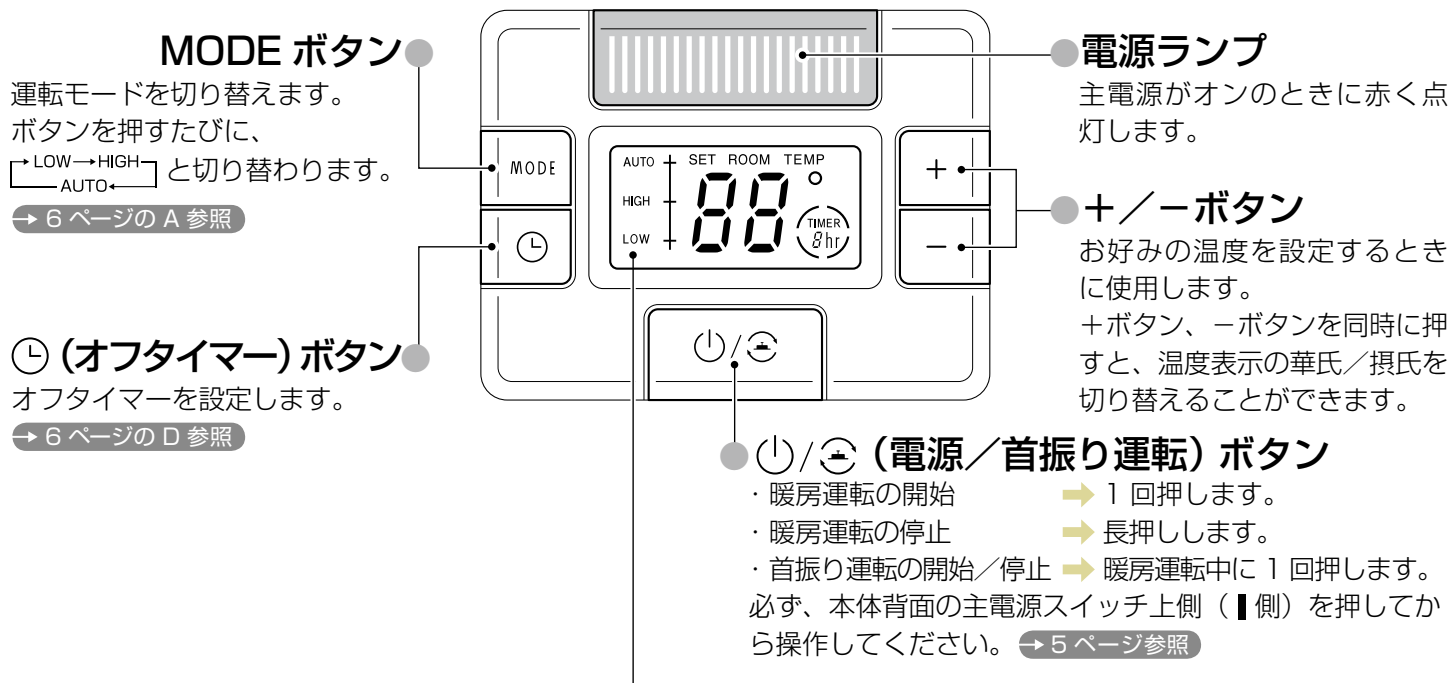
I : 主電源をオンにします。

O : 主電源をオフにします。

※主電源スイッチをオフにすると、すべての電源が切れます。

操作パネル

⚠ 注意 操作パネルのボタンを押すときは、必ず本体を押さえてください。強く押すと、本体が転倒する恐れがあります。



液晶ディスプレイ

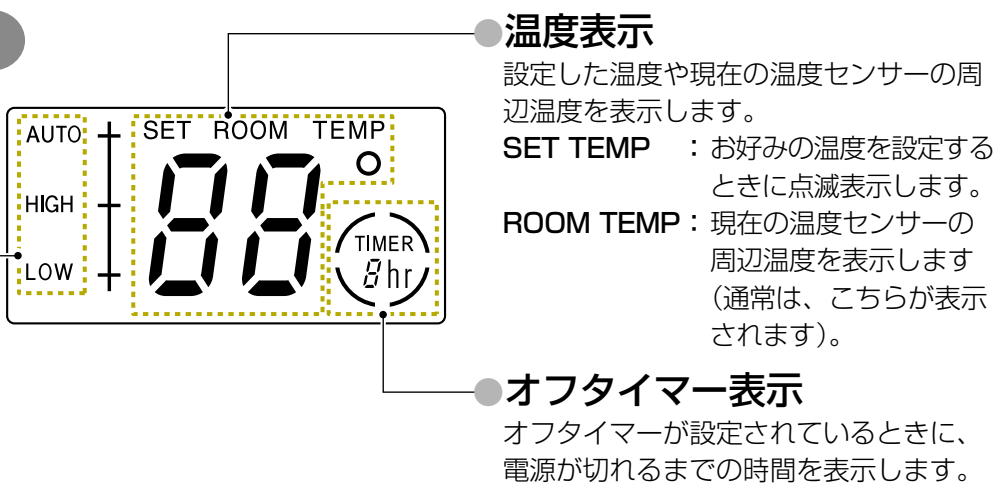
※液晶ディスプレイは、説明のためにすべてを表示しています。通常操作時は、これらが同時に表示されることはありません。

運転モード表示

現在の運転モードを表示します。

LOW : 弱
 HIGH : 強
 AUTO : 自動運転

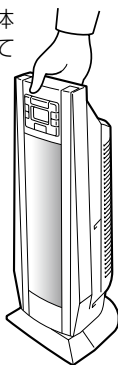
→ 6 ページの A 参照



ヒーターを移動するときは

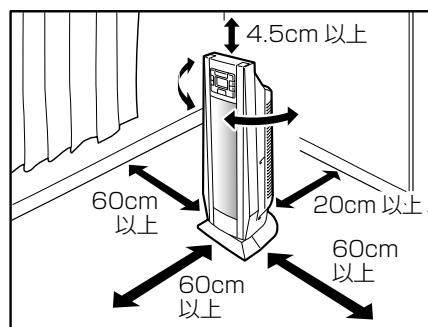
取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。

※必ず電源を切り、本体が冷えてから移動してください。



設置場所

ヒーターは燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



特にヒーター背面は、吸い込み孔から空気を吸い込めるように、壁やカーテンから 20cm 以上離して設置してください。また、ヒーター送風孔 (前面) と、家具や壁、カーテンの間は 60cm 以上離すようにして、温風が直接当たらないようにしてください。



注意 温風は、送風孔に近いほど温度が高くなりますので、送風孔に近づき過ぎないように注意してください。また、比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると、低温火傷の恐れがあります。

操作手順

1 本体の電源を入れる

- ① 電源プラグをコンセントにしっかり差し込む。

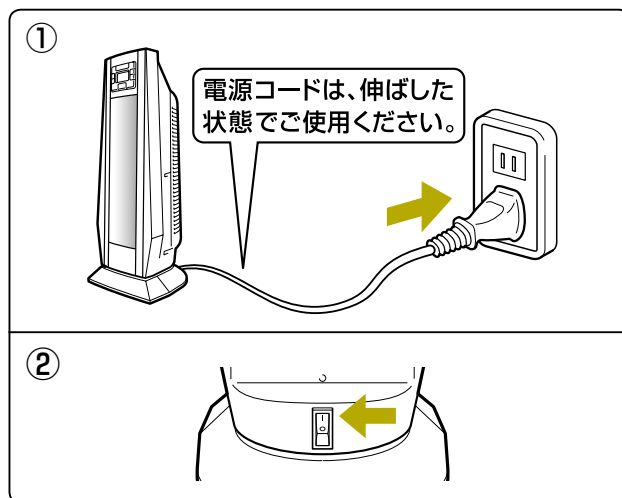
電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと差し込んでください。

⊘ 延長コードは絶対に使用しないでください。

- ② 本体背面の主電源スイッチ上側（Ⅰ側）を押す。

ピッと音が鳴り、電源ランプと液晶ディスプレイが点灯します。

※主電源を入れたあと、何も操作しないと液晶ディスプレイは約 15 秒で消灯します。

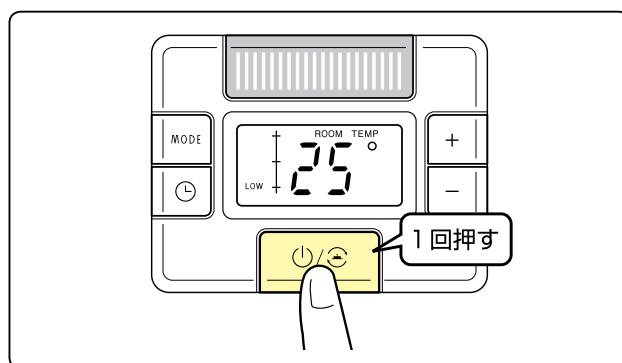


2 暖房運転を開始する

⏻/⏻ (電源／首振り運転) ボタンを押す。
ピッと音が鳴り、液晶ディスプレイに運転モードと現在の周辺温度が表示され、暖房運転が開始します。

※電源を入れたときは、常に LOW（弱）モードで運転が始まります。

- お好みの温度を設定する場合： → 次頁の B 参照
- 首振り運転をする場合： → 次頁の C 参照



3 本体の電源を切る

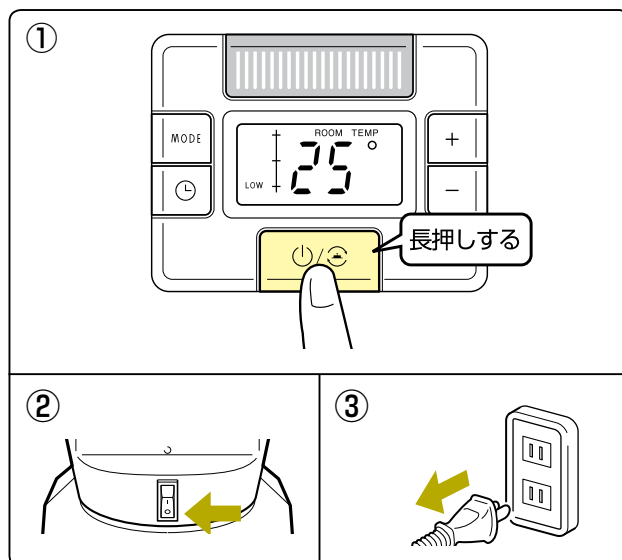
- ① ⏻/⏻ (電源／首振り運転) ボタンを長押し（約 2 秒）する。

ピッと音が鳴り、暖房運転が停止します（液晶ディスプレイは消灯します）。

- ② 本体背面の主電源スイッチ下側（Ⅱ側）を押す。

電源ランプが消灯し、電源が切れます。

- ③ 電源プラグをコンセントから抜く。



暖房の設定方法

A 運転モードを切り替える

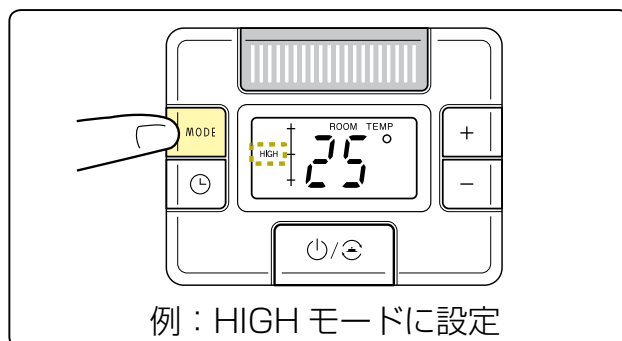
MODE ボタンを押して、運転モードを切り替える。

ボタンを押すたびに、 $\left[\begin{array}{c} \text{LOW} \rightarrow \text{HIGH} \\ \text{AUTO} \end{array} \right]$ と切り替わります。

LOW : 弱 (温度: 低、風量: 少) で連続運転します。

HIGH : 強 (温度: 高、風量: 多) で連続運転します。

AUTO : 設定した温度に合わせて、暖房運転のオン／オフを自動制御します。



B お好みの温度を設定する

(AUTO モード時)

お好みの温度を設定します。

① MODE ボタンを押して、AUTO モードに切り替える。

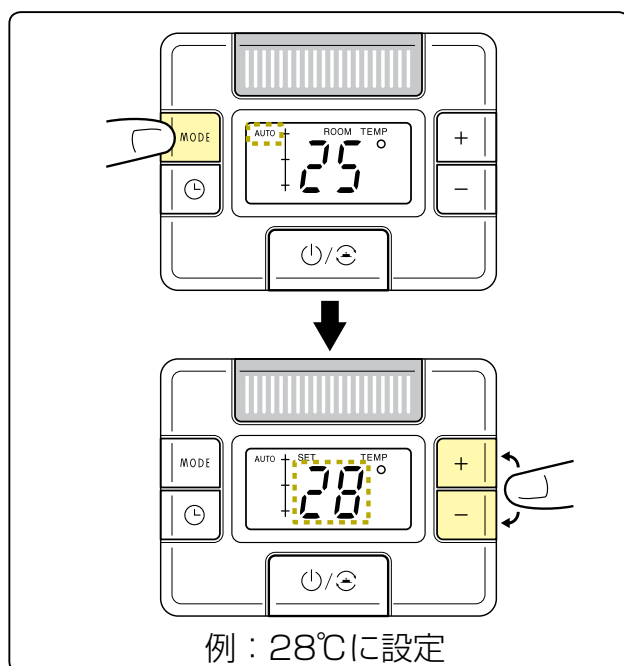
② + / - ボタンを押して、お好みの温度に設定する。

温度は、5 ～ 30℃の範囲 (1℃単位) で設定できます。
温度設定中は、液晶ディスプレイに「SET TEMP」と表示されます。

約 5 秒後に、液晶ディスプレイに「ROOM TEMP」と表示され、温度が設定されます。

設定したあとは、自動的に暖房運転のオン／オフを繰り返しながらお好みの温度に保ちます。

+ ボタン、- ボタンを同時に押すと、温度表示の華氏／摂氏を切り替えることができます。

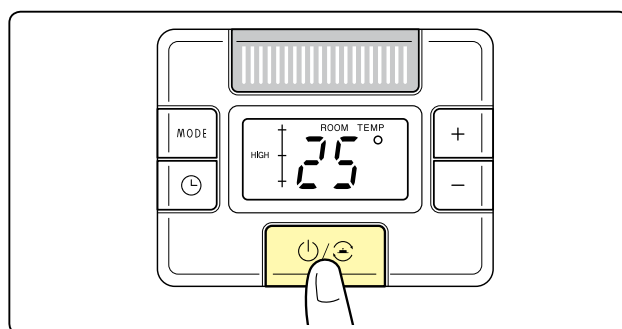


C 首振り運転をする

暖房運転中に、 \odot / \ominus (電源／首振り運転) ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、首振り運転が開始／停止します。

※ AUTO モードのときは、暖房運転のオン／オフに合わせて、首振り運転も開始／停止します。



⚠ 注意

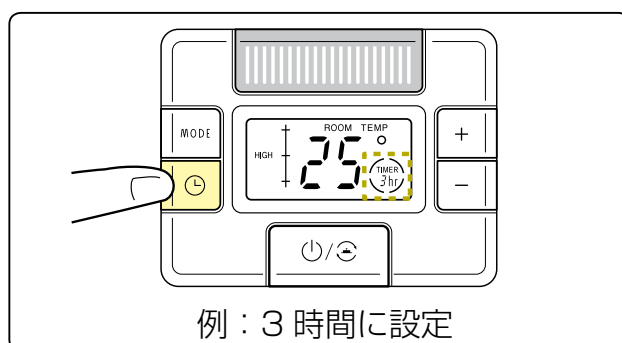
首の角度を手動で調整することはできません。首が正面を向いているときに電源を切り、正面を向かせた状態で保管してください。

D オフタイマーを設定する

\odot (オフタイマー) ボタンを押して、オフタイマーを設定する。

オフタイマーは、1 ～ 8 時間の範囲 (1 時間単位) で設定できます。

ボタンを押すたびに、 $\left[\begin{array}{c} 1\text{hr} \rightarrow 2\text{hr} \rightarrow 3\text{hr} \dots \\ \text{オフ(表示なし)} \leftarrow 8\text{hr} \leftarrow 7\text{hr} \leftarrow \end{array} \right]$ と切り替わります。



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、12.5/13.5A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えてい

いかどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、足りて

いても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

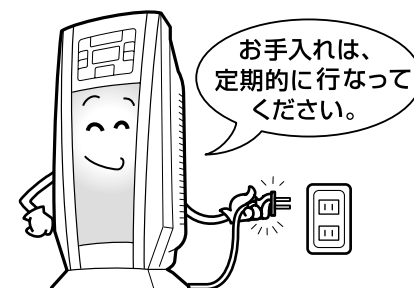
電気代(目安)について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

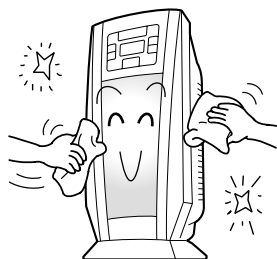
| | |
|----------------------------------|---|
| 電力レベル最大: HIGH(強) 1250W (50Hz) | 部屋が設定温度に達した後 Autoモードで自動運転 (ヒーター稼働率: 60%の場合) |
| 約28円/時間 | 約17円/時間 |

お手入れ／保管のしかた

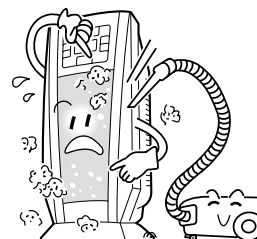
- お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。
- 水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。
- 保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



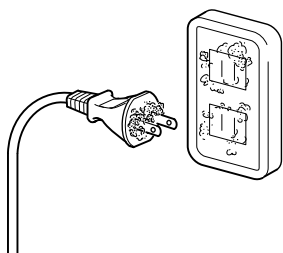
- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



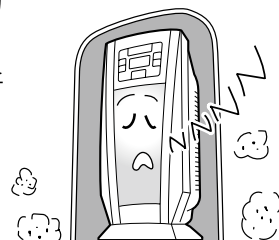
- 本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 収納／保管する際は、カバーなどを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。



故障かな？ ～ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切った後（＝運転を中止）、電源プラグをコンセントから抜き、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 9 ページの「アフターサービス」を参照してください。

| 症 状（状態） | 予想される原因 | 対処のしかた |
|--|--|---|
| 主電源スイッチ上側（I側）および、  /  （電源／首振り運転）ボタンを押しても、液晶ディスプレイに何も表示されない | 電源プラグが、コンセントに差し込まれていない | 電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。 |
| | 不安定な場所にヒーターを設置している | 本体底部に転倒時自動電源遮断装置が付いていますので、毛足の長い絨毯や凹凸のある床は避け、平らな床に置いてください。 |
| | 主電源スイッチ、  /  （電源／首振り運転）ボタン、あるいは液晶ディスプレイが故障している可能性がある | お求めの販売店または弊社サービスセンター（9 ページ参照）にご連絡ください。 |
| AUTO モードで暖房運転を開始しても、ヒーターが温かにならない | 設定温度がヒーターの温度センサーの周辺温度より低い | + / - ボタンで今より設定温度を高くしてください（5 ～ 30℃）。 |
| 液晶ディスプレイに表示される温度が高い | 温度表示が華氏になっている | + ボタン、- ボタンを同時に押し、温度表示を摂氏に切り替えてください。（4 ページ参照） |
| 使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる | 延長コードを使ったり、タコ足配線をしている | 延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格 15A の壁面コンセントに直接差し込みます。 |
| | 電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない | 電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。 |
| | 差し込み口（刃受）が 2 つあるコンセントで、両方の差し込み口を使用している | 差し込み口（刃受）が 2 つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差し込み口を空けておきます。 |
| | コンセントがガタついたり、差し込み口（刃受）がゆるい | お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。 |
| | 電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している | お求めの販売店または弊社サービスセンター（9 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。 |
| | 電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている | 電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。 |
| | 電源コードを束ねた状態で使用している | 余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。 |
| 暖房運転中に液晶ディスプレイの全てが表示され、ピーと長い音が鳴り続ける | 本体背面がカーテンや布などで覆われている | 本体背面をカーテンや布などで覆わないでください。背面を覆うと温度センサーの周辺温度が約 50℃まで上昇し、安全装置が作動します。主電源スイッチで電源を切り、本体を冷ましてください。その後、通常の操作手順にしたがって暖房運転を再開してください。少しでも気になる点がございましたら、弊社サービスセンター（9 ページ参照）にご連絡ください。 |
| | 内部のファン、あるいは温度センサーが故障している可能性がある | お求めの販売店または弊社サービスセンター（9 ページ参照）にご連絡ください。 |

アフターサービス

- 1> 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに主電源スイッチで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、8ページの「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

-----<★以下のような場合には、点検および修理が必要です>-----

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体や操作パネルに、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2> 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

- 3> 保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 4> 補修用性能部品の保有期間について

弊社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 5> デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

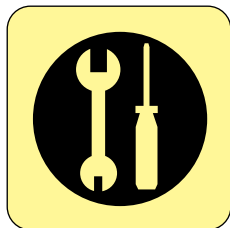
デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～18:00）

コールセンター 修理について Tel.0120-804-280
Tel.0120-692-885
お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291
Tel.0120-692-880

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫（株）内4号ビル

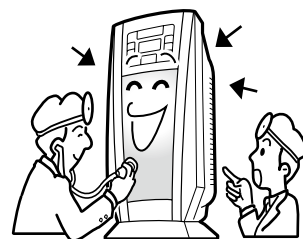
ホームページでのお問い合わせ（URL）—— <http://support.delonghi.co.jp>

真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（左ページ参照）までお問い合わせください。



この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



仕様

| | | |
|---------|------------------------------------|-----------------------|
| 製品名称 | デロンギ タワー・セラミック・ファンヒーター | |
| 型式番号 | HCH6590EJ | |
| 適用畳数 | 3～8畳 | |
| 定格 | 電圧／周波数 | 交流 100V／50/60Hz |
| | 消費電力 | 1250/1350 W (50/60Hz) |
| 外形寸法／質量 | 幅 21.0 × 奥行 21.0 × 高さ 55.0cm／3.0kg | |
| タイマー | 1～8時間オフタイマー付 | |
| 安全装置 | 転倒時自動電源遮断装置、復帰型安全ヒューズ | |



 **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル

www.delonghi.co.jp イタリアのライフスタイル情報満載！会員登録でプレゼントのチャンスも！